

平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 カルナバイオサイエンス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4572 URL http://www.carnabio.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉野公一郎
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理本部長 (氏名)吉野公一郎 (TEL)078(302)7075
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日~平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	1,277	177.3	584	—	605	—	572	—
26年12月期第3四半期	460	△17.9	△411	—	△388	—	△390	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 584百万円(—%) 26年12月期第3四半期 △339百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	66.53	63.69
26年12月期第3四半期	△47.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	2,369	1,958	82.3
26年12月期	1,221	830	67.2

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 1,950百万円 26年12月期 820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日~平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,532	150.5	372	—	395	—	364	—	42.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年12月期3Q	8,887,400株	26年12月期	8,318,100株
27年12月期3Q	一株	26年12月期	一株
27年12月期3Q	8,602,442株	26年12月期3Q	8,275,974株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、本四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国において雇用拡大を背景に回復基調が継続するとともに、欧州でもユーロ安を背景とした輸出拡大に伴い回復傾向にあるものの、中国やその他新興国における成長の鈍化等により、輸出は減少傾向にあるとともに、個人消費の改善は緩慢な状況が継続するなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。当社グループが属する製薬業界におきましては、引き続き大手製薬企業における大型医薬品の特許切れに伴う収益力の低下から、新たな大型医薬品の開発が急がれており、新薬を生み出す研究開発競争は激しい様相を呈しております。このような環境の中で、大手製薬企業は自社研究に積極的に取り組むだけでなく、当社をはじめとするバイオベンチャーが研究開発した新薬候補化合物の導入等創薬パイプラインの強化を加速させており、当社が研究開発を行っている創薬テーマについても、継続して高い注目を集めてまいりました。

このような外部環境の中、当社グループは、キナーゼ創薬に係る創薬基盤技術を核とした創薬支援事業並びに創薬事業を積極的に展開し、事業の拡大を図ってまいりました。

セグメント別には、当期の第2四半期に実現した創薬事業における当社創薬パイプラインの導出をうけて、当社パイプラインへの関心が高まっており、積極的な導出交渉に努めるとともに、重点疾患領域であるガン領域を中心としたキナーゼ阻害薬の研究開発を精力的に行ってまいりました。また、創薬支援事業におきましては、小野薬品工業株式会社との大規模委受託契約に基づく受託試験の確実な遂行を図るとともに、新たな大規模キナーゼプロファイリング・スクリーニングサービスの委受託契約の獲得に向けた活動を国内及び北米市場で積極的に展開してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,277百万円（前年同四半期比177.3%増）、営業利益は584百万円（前年同四半期は411百万円の損失）、経常利益605百万円（前年同四半期は388百万円の損失）、四半期純利益572百万円（前年同四半期は390百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

①創薬支援事業

キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発、プロファイリング・スクリーニングサービス及びセルベース・アッセイサービスの提供等により、創薬支援事業の売上高は662百万円（前年同四半期比43.8%増）、営業利益は307百万円（前年同四半期比498.3%増）となりました。売上高の内訳は、国内売上は395百万円（前年同四半期比59.6%増）、北米地域は190百万円（前年同四半期比33.5%増）、欧州地域は62百万円（前年同四半期比5.4%増）、その他地域は14百万円（前年同四半期比26.6%増）であります。

②創薬事業

平成27年6月に締結した、ジョンソン・エンド・ジョンソンの医療用医薬品部門であるヤンセン・バイオテック社とのライセンス契約に基づく導出一時金を当期の第2四半期において売上に計上するとともに、画期的なキナーゼ阻害薬の創製を目指し積極的に研究開発を推進してまいりました。これらの結果、創薬事業の売上高は、614百万円（前年同四半期は売上高の計上なし）、営業利益は277百万円（前年同四半期は462百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計年度末	増減
総資産（百万円）	1,221	2,369	1,147
純資産（百万円）	830	1,958	1,128
自己資本比率（%）	67.2	82.3	15.1

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,369百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,147百万円増加しました。その内訳は、現金及び預金の増加1,204百万円、売掛金の減少44百万円、投資有価証券の増加19百万円等であります。

負債は410百万円となり、前連結会計年度末と比べて19百万円増加しました。その内訳は、1年内返済予定の長期借入金の増加30百万円、未払金の減少74百万円、未払法人税等の増加34百万円、長期借入金の増加40百万円等であります。

純資産は1,958百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,128百万円増加しました。その内訳は、四半期純利益572

百万円の計上、資本金の増加271百万円、資本剰余金の増加271百万円、その他有価証券評価差額金の増加17百万円等
であります。

また、自己資本比率は82.3%（前連結会計年度末は67.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月28日公表した平成27年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	626,742	1,830,851
売掛金	95,313	50,672
商品及び製品	93,772	91,227
仕掛品	8,167	14,094
原材料及び貯蔵品	17,261	16,009
その他	66,331	48,023
流動資産合計	907,589	2,050,878
固定資産		
有形固定資産	52,505	39,195
無形固定資産	2,193	1,637
投資その他の資産		
投資有価証券	241,339	260,652
その他	17,818	16,919
投資その他の資産合計	259,157	277,572
固定資産合計	313,856	318,405
資産合計	1,221,446	2,369,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,343	56
1年内返済予定の長期借入金	38,928	69,508
未払金	107,707	33,250
未払法人税等	7,073	41,971
その他	37,504	28,378
流動負債合計	195,558	173,166
固定負債		
長期借入金	121,948	162,172
繰延税金負債	47,458	48,983
資産除去債務	24,677	25,046
その他	1,575	1,050
固定負債合計	195,659	237,251
負債合計	391,218	410,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,627,070	2,898,155
新株式申込証拠金	—	3,270
資本剰余金	1,445,230	1,716,264
利益剰余金	△3,336,081	△2,763,761
株主資本合計	736,219	1,853,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,954	97,051
繰延ヘッジ損益	—	△3,410
為替換算調整勘定	4,764	3,355
その他の包括利益累計額合計	84,718	96,996
新株予約権	9,289	7,940
純資産合計	830,227	1,958,866
負債純資産合計	1,221,446	2,369,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	460,633	1,277,146
売上原価	168,769	165,789
売上総利益	291,863	1,111,357
販売費及び一般管理費	703,498	527,056
営業利益又は営業損失(△)	△411,635	584,300
営業外収益		
受取利息	183	135
補助金収入	24,800	29,240
為替差益	152	-
その他	1,106	1,650
営業外収益合計	26,242	31,026
営業外費用		
支払利息	1,693	1,467
株式交付費	342	2,304
為替差損	-	3,864
その他	1,528	2,235
営業外費用合計	3,564	9,871
経常利益又は経常損失(△)	△388,957	605,455
特別利益		
新株予約権戻入益	-	2,282
特別利益合計	-	2,282
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△388,957	607,738
法人税、住民税及び事業税	1,486	35,892
法人税等調整額	△201	△475
法人税等合計	1,285	35,417
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△390,242	572,320
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△390,242	572,320

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△390,242	572,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,095	17,097
繰延ヘッジ損益	-	△3,410
為替換算調整勘定	226	△1,408
その他の包括利益合計	50,322	12,278
四半期包括利益	△339,920	584,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△339,920	584,599

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

株主資本の著しい変動

新株予約権の権利行使により、当第3四半期連結累計期間において、資本金が271,084千円、資本剰余金が271,034千円増加し、この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,898,155千円、資本剰余金が1,716,264千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	創薬支援事業	創薬事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	460,633	—	460,633
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	460,633	—	460,633
セグメント利益又は損失(△)	51,355	△462,990	△411,635

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しており差額はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	創薬支援事業	創薬事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	662,296	614,850	1,277,146
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	662,296	614,850	1,277,146
セグメント利益	307,268	277,032	584,300

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。